



学校だより

天王丘 XII



令和3年11月4日(木)

第25号

観音寺市立作田小学校
発行

自主研究発表会開催！ ～1,3,5年生が授業を公開しました～

本校は、令和元年度より、香川県小学校教育研究会道徳部会より研究指定を受けて、3年間の研究を重ねてきました。本来であれば、研究大会として10月28日(木)に県下全域より先生方をお招きして授業を公開する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、研究大会は中止(紙上発表)となりました。でも、本校の研究を、授業を、子どもたちの姿を通して、多くの先生方に見ていただきたいという思いで、「自主研究発表会」という形で開催することとなりました。今号では、その様子をご紹介します。

■ 1年2組 主題「あいての気持ち」

【授業者:園子 結菜 先生】

『ないちゃった』という資料を読んで、相手の気持ちを考えることの大切さを学びました。遊んでいるボールを急に奪う子に「どんな言葉をかけると良いか」話し合い、役割演技も取り入れながら、考えました。



■ 3年2組 主題「正しく強い心」

【授業者:原 俊三 先生】

サッカーの審判中の主人公の葛藤。ボールがラインを割った際に笛を吹かなければならないのに、出した子はかなり力の強い子…。主人公の葛藤に寄り添いながら、正しく強い心について考えました。



■ 5年2組 主題「許すことのとうとさ」

【授業者:安藤 咲紀 先生】

大切なお金を盗まれたミリエル司教は、盗んだジャン・バル・ジャンを訴えるどころか、銀のしょく台まで譲り渡します。その行動に込められた「許すことの尊さ」について、深く考え合いました。



研究会当日は、観音寺市、三豊市両教育委員会からたくさんのご来賓の方々にご臨席をいただきました。また、三観地区内から30人近くの先生方に来ていただきました。これまでに本校でお世話になった中西康代先生(豊浜小)、守谷奈優先生(山本小)、村井麻奈未先生(伊吹小)も来てくださり、成長した子どもたちの様子を見て、感動されていました。

道徳の授業は、後からじわりじわりと漢方薬のように効いてきます。互いの考えを出し合い、話し合いながら心を耕したことは、これから、よりよい生き方をめざす上で、貴重な学びとなります。

今回の研究会を通して、また一つ成長した子どもたち。今後がますます楽しみです。